



ダブリン(アイルランド)旅行記

～異国で感じたジェンダー、そして若い世代に向けての思い～

本間 敏代(Lapin'23)

5月末から6月頭にかけて、20年ぶりに海外へ出かけてきました。とくに期限切れのパスポートを再取得するところから準備を始め、ネットで飛行機や宿を予約したり、フライトのチェックインをしたりと初めてのことがたくさん。今までツアーでの海外旅行しかしたことがないので、職場の先輩達から情報をもらいながら何とか準備を進めました。行先はアイルランド(とイギリス・ロンドン)。

きっかけは長男が昨年10月から1年間、ワーキングホリデーでアイルランドの首都ダブリンに滞在することになり、出発前に準備のために一緒に買い物に行った帰りの車の中で何かの話のついでにポロっと言った一言。「母も遊びにおいでよ」と。

1週間近く仕事を休むことや高校生の次男と夫の二人で留守番してもらうことに、自分としては心理的ハードルが高かったけれど、こんな機会でもなければ一生「アイルランド」という国に行くことはないだろうと一念発起。私と同様に「こんなことでもなければアイルランドに行くことないから行ってみたい」と言ってくれた姉と現地まで二人旅。そういえば姉妹で旅行するのも初めてでした。

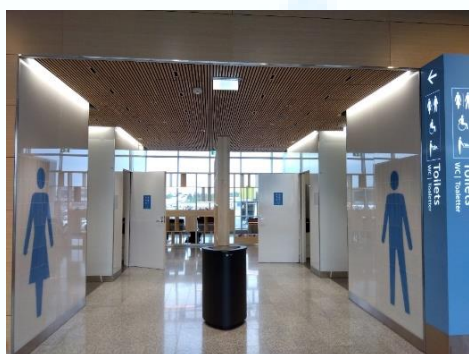
ダブリンへのフライトはまず中部空港からヘルシンキへ。その機内は、半数くらいは日本人でした。が、ヘルシンキからダブリン行きの飛行機には日本人は全くおらず。搭乗するとき、乗客の中で最後の方だったため、機内に入った時はほぼ席は埋まっていて、奥の方だった自分の席まで通路を歩きながら、「うわっ外人(欧米人)ばかりじゃん」と私は内心想っていたのですが、それは向こうも同じだったようで、物珍しい感じですごくガン見されて少し緊張。追い打ちをかけるように小声で「ヤパン(日本人)?」「イエロー?」などと後ろから聞こえてきて。急に日本人代表になった気分で背筋が伸び、身が引き締まる思いになりました。スケールは全く違うのでおこがましいのですが、イチローや大谷選手のすごさがちょっとだけわかったような気分。こんなデカイ人たちの中で日々がんばっているんだな、と。

そして、長男が滞在しているアイルランドについて。ウィスキーやラグビーがお好きな方にはおなじみの国かもしれませんが、国名を聞いて「ああ、あそこね」と思い当たる人は少ないのでは。ちなみに私は、アイルランドと聞いて、ジェン

順位	国名・地域名	男女格差指数
1	アイスランド	0.926
2	フィンランド	0.879
3	ノルウェー	0.863
4	イギリス	0.838
5	ニュージーランド	0.827
6	スウェーデン	0.817
7	モルドバ	0.813
8	ナミビア	0.811
9	ドイツ	0.803
10	アイルランド	0.801
11	エストニア	0.799
12	スペイン	0.797
13	オーストラリア	0.792
⋮		
100	アゼルバイジャン	0.688
101	韓国	0.687
102	チェコ	0.686
103	中国	0.686
⋮		
117	アンゴラ	0.668
118	日本	0.666
119	ブータン	0.663

ジェンダーギャップ指数ランキング
2005年世界経済フォーラム発表

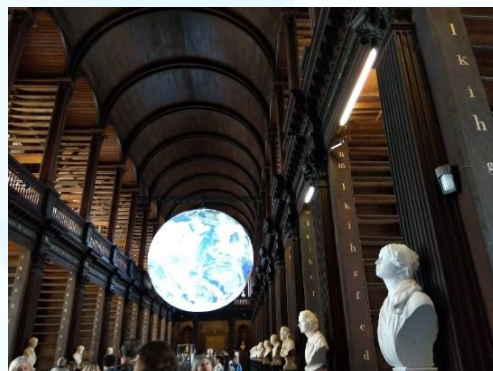
ダーギャップ指数 1 位の国？と思ってしまいました。実際の 1 位はアイスランド。一字違いです(笑)。ちなみにアイルランドの 2025 年ジェンダーギャップ指数は 10 位。表にあるように日本の 118 位と比べれば断然上位です。



ジェンダーということ言えば、今回の旅行で心に残ったことが二つありました。そのうちの一つは、飛行機の乗り継ぎ先のヘルシンキ(フィンランド)で利用したお手洗いについて。写真がカラーだと伝わりやすいですが、男女ともブルーの絵文字で、一瞬どっち？と迷いました。変わってきているとはいえ、女性は赤、男性は黒か青、という意識が自分自身しみついているのだな、と実感しました。

もう一つは、ダブリンで観光したアイルランド最古の大学「トリニティカレッジ」のオールドライブライブラリーでのこと。この図書館が建てられたのは 1732 年。修復作業のため空の本棚が多かったけれど、歴史を感じる本棚、らせん階段などとても美しく、天井も高く見とれてしまいました。たくさんの胸像も飾られていて壮観でしたが、まあ男性ばかりだよな、と思っていたら、あれ？女性じゃない？と思われる胸像をいくつか発見。

女性の胸像は 4 体ありました。数学者のエイダ・ラブレイス、DNA 研究者でもあった科学者のロザリンド・フランクリン、「女性の権利の擁護」著作者のメアリー・ウルストンクラフト、劇作家のオーガスタ・グレゴリーの 4 人でした。この 4 人の方のことを初めて知ることができたことはとてもよかったけれど、日本に女性の像ってあまりないような気がして、こんなところでもジェンダーギャップを感じました。ちなみに東京大学キャンパス内に多数ある銅像はすべて男性(忠犬ハチ公はオス)だそうです。



ともあれ、7 か月ぶりに長男と会うことができ、元気に頑張っている様子がわかり安心。海外に興味を持ち、英語が話せるようになりたい、そして広い世界を見てみたいと旅立っていった長男に私はもう何かを教えることや、相談相手にはなることはできないだろうけれど、話し相手ではいたいと思っています。今回、彼が滞在している街へ行き、日々見ている景色を見ることができ、ヨーロッパに移民が多いことや物価の高さも実感しました。(コーラ 500ml が 500 円ほど)またダブリン以外にロンドンへも足を伸ばして一緒に観光することができ、今後の進路などたくさんのお話もでき、貴重な時間でした。

年を重ねるにつれて、長男に限らず若い世代とのギャップを感じたり、話題が合わないこともあるけれど、ただわからないと壁を作るのではなく、彼らが感じていることに関心を持ち続けていけたら、そして世代ギャップもジェンダーギャップも楽しむくらいの気持ちで日々過ごしていけたら、とあらためて実感した旅行になりました。

知ることからはじめよう

会長 箕浦 真智子(Reiwa'19)

公益財団法人あいち男女共同参画財団が開催した各種セミナーの受講生によって、2000年に結成された「ウィルあいち交流ネット」。以来25年にわたり、男女共同参画社会の実現を目指して活動してきました。これまで築かれてきた歩みに心より敬意を表するとともに、一員としてその歩みを共に進められることを大変うれしく思います。

昨年度はNHK朝ドラ「虎に翼」の主人公・猪爪寅子の「はて？」という問いに動機づけられ「法を“知る”ことからはじめよう～わたしを切り拓くために～」をテーマに活動を展開しました。ウィルあいち前に位置する名古屋市市政資料館は、寅子のモデルとなった三淵嘉子さんが初の女性判事として赴任された場所でもあります。ドラマの世界と三淵さんの歩みに思いをはせるなかで、法律を知ることが権利を守るためだけでなく、自らの未来を切り拓き、社会を変える力でもあると改めて気づかされました。



その学びは静かに根を張り、今年度のテーマ「知ることからはじめよう 社会からの圧～わたしを切り拓くために」へと確かにつながっています。社会制度の隙間や無意識の偏見など、見えにくい圧と向き合うには、まず知ること、そして気づくことが欠かせません。その「知」が声となり、行動となり、一人一人が自分らしい未来を切り拓くきっかけになるでしょう。

皆さまと共に学び、気づき、少しずつでも確かな歩みを重ねながら、誰もが生きやすい社会の実現を願っております。



詩人 茨木のり子に寄せて

尾崎 百合江(そだね!2017)

西尾市ゆかりの詩人、茨木のり子をご存じでしょうか。のり子さんは、ある方からこう言われたそうです。

「人間はいつまでも初々しさが大切なんですねえ、人に対しても世の中に対しても。初々しさがなくなると、俳優としてもダメになります。それは隠しおおせるものではなくて、そうして堕ちていった人を何人も見ました。」女優の山本安英さんの言葉です。その時のことを後に、のり子さんはこう書いています。「大人になってもどぎまぎしたっていいんだな、ぎこちない挨拶、醜く赤くなる・・・中略・・・子供の悪態にさえ傷ついてしまう、頼りない生牡蠣のような感受性、それらを鍛える必要は少しもなかったのだな」、大好きな『汲む』という詩の一節です。



かつての私も、たいした知識もないのに分かった風な口をきいて背伸びをしていました。自分の感受性を信じ、存在を信じ、幾つになっても感じたことを大切に、素直に表現していきたいものです。

一人ひとりの声から始まる

副会長 杉山 碧(Lapin'23)

人権を基軸に大学以来活動を広げて参りました。人権は生まれながらにして誰もが持っている権利であり、人権を保障していく責任が行政にはあります。そのことを役所が理解しているのか疑問な昨今。公的な制度で支える社会にしていくために、交流ネットの活動をしていきたいと思います。

直近ではフラワーデモの活動を通し

- ・「対話と共感性」を重視する実践が、
- ・「孤立や関係依存の連鎖を断ち切り」、
- ・「誰もが尊重され、差別や偏見なく互いを認められる」。
- ・自分で関係性を書き換えていく力を育む。と結論づけました。

これらが、マイノリティである女性に実践される。それが社会に求められる課題です。

はじめの一步『ワークショップ 2025 学習会』では「一人ひとりの声から始まる」を体感していただけましたか？ あなたの街でも開催できます♡。いつでも奔走しますので、お声掛けください。



還暦の思い

会計 佐野 裕香子(Fem.'9)

8月下旬に還暦を迎えます。干支が一巡し「出生時に還る」のが還暦であり、新たな気持ちで60代を迎えたいと思っています。

若い頃は高齢で私を産み育ててくれた両親や、職場のお客様、地域の方々など還暦を超えた先輩方を見るとずいぶん大人で経験を積んだ人に見えました。今の自分は、若い人から見てあの頃の先輩方のように見えているのだろうかと思心暗鬼になります。とにかく、自分の身の丈で心身ともに健康で過ごしていきたいと思っています。

今の自分には様々な顔があります。結婚以来30年以上家庭を守ってきた主婦としての顔、今も現役で仕事をする夫の妻としての顔、嫁いだ娘や同居して仕事に向かう息子の親としての顔、地域やこの交流ネットで活動する社会人としての顔です。どの顔で活動していても最近特に感じることは、ひとりでは何もできないということです。私にとって得意なことについて対価を求めず提供していると、誰かが同じように助けてくれます。その結果、自分ひとりでやれそうだと思っていた範囲を超えて素敵な結果を得られることも多いです。



私は名古屋の郊外の電車も通っていない田園地帯の田舎住まいですが、こんな田舎でも自分さえよければ、自分が生きている間さえよければ、という考えが地域で出てくることもあります。今の私を育ててくれた「お互い様」を信条とする田舎の良さが失われるのは寂しいことです。

還暦にあたって、今一度自分の立ち位置を見つめ直し、これまでの人生の経験の積み重ねを精一杯生かして社会、地域へお返しするように努力

し、私と交わってくださる方々と力を合わせて何事にも取り組んでいきたいと、この人生の節目に感じます。どうぞみなさま、改めて「出生時に還った」私とお付き合いの程お願いいたします。



～ME24 メンバー紹介～

書記 婦木望希 (ME24)

初めまして、ME24 です。「me」は自分自身、そして「巳年(みどし)」にちなんで「巳=me」と名付けました。(修了式が巳年の年だったから)。

2024 年度は、23 市町から 24 名が参加し、4 班に分かれた研修を通じて学習・研究レポートを作成しました。研修では、女性への圧、子育て、少子化、防災といった身近な問題をテーマに各世代からの視点や意見を交換しました。この一年を通じて、様々なことを学ぶ貴重な機会となりました。さらに交流ネットに参加することで、より多くの出会いが広がり、情報や知識、考え方、問題点などを知るきっかけになると考えています。

【1 班】(高木一恵、太田純子、婦木望希、上田美月、平田友香、小椋和美)



本来、社会における活躍とは、男女が平等に活躍できる場であるべきだと私たちは考えます。しかし「女性活躍推進法」が制定されてから、女性の社会進出にばかり焦点が当たっているように感じ、「女性の活躍という“圧”」をテーマに 1 年間取り組みました。

今後も交流ネットに参加し、さらに視野を広げていきたいと思います。

【2 班】(近藤久美子、中西沙織、山口多恵子、小島美花、鈴木佳世、小林智子)



私たち2班は、小1の壁問題をはじめとする働く女性を取り巻く環境について議論し、各市町の学童の現状を調べ報告しました。今後の活動でも、セミナーで学んだことをしっかり活かしてまいります。

【3 班】(酒井なるみ、山頭葉子、小川恵、花井幸江、石井佳子、花田鮎美)



3班は有効な少子化対策について考え、多様性を認めること、古い価値観にとらわれないことの大切さを学びました。セミナーを通じて共同で作業した経験を交流ネットにも活かしていきたいと思っています。

【4 班】(高良眞利子、越山裕美、岡本博美、久田恵美、前田岳美、福田直美)



幸田町、武豊町、安城市、北名古屋市、瀬戸市、半田市の 6 人の構成で避難所について考えました。支援物資に生理用品は必要か？避難所運営の課題解決には男女共同参画の視点が必要です。テーマを通して気づきが多くあったため、今後も交流ネットを通じてさらに考えを深めていきたいです。

交流ネット第1回学習会 Workshop

知ることから始める～一人ひとりのモヤモヤ感をはき出そう

以下のプランでワークショップがすすめられました実践しましょう

LESSON PLAN

Objectives

9:15 受付開始
ファシリテーター杉山碧

9:30 ワークショップのはじめ
安全な空間のために

9:40 幼い時からの経験を振り返って
みましょうorセミナーに参加
した動機を書いてみましょう

9:50 物干ロープへ～早く書き終わ
った人から～洗濯バサミを使い
展示→読む

10:20 着席グループワーク

- ・まず今あなたのモヤモヤは何？
- ・読んだ感想を各自から
- ・では、あなたのグループが主催
者になったとしたら、どんな質問
をつくる？

11:00 発表
アンケート→

11:10 まとめ

以降～交流ネット会議～

11:30 会議開始
司会:箕浦 書記:ME24

Subject:

交流ネット2025学習会1

Learning

日常生活で感じる「庄」や「これっ
てハラスメント？」をカードに書き、
物干しロープ(Clothesline)に展示する
参加型アート企画。

初心に戻ってウィルあいせセミナーに
参加した動機から書き始めてみせん
か？そして、社会構造から生じる心の
「モヤモヤ」を挙げて、気持ちを共有
する、そこから対話を始める……

さあ、心の洗濯をしましょう！

Notes

グラウンドルールの説明

公共空間でなかなか声を上げる事がで
けない人々が、その想いを告白するの
に安全な環境を提供します。

日常生活で感じる 偏見・ハラスメント

それはあなただけの問題じゃない・あな
たはわるくない。あなたはあなたのまま
でいい。すべては個からはじめなきゃ

何のために？

「ジェンダー平等に向かう変化を地域社
会に生み出していくエンパワメント拠
点に」と定義をしたい。変化と変化を、
繋げ・共鳴させ・それを点から線へ、線
から面へと展開していくという機能を持
っている。これがやはり核心。

2025.6.29 北生涯学習センター

アンケート:感想・ご意見

- ・グループワークでの話が、大変刺激になりました。皆さん自分の意見を上手にまとめられていて、日頃の意識のもち方が違うのだなと感じました。考えること、言葉にすることが大事だと思いました
- ・自分だけでなく、他人の事まで話を聞いたり、(カードを)見たりすることで、可視化できた。たくさん話しが出来て、良かった。
- ・今まで心のなかのモヤモヤ・圧などは、受けても翌日のために1-2日で忘れて次の日に向かうようにしていました。でもそのモヤモヤは、本当はその時に相手に自分の思いを発信すべきことであったと確認できました。これからはその時に声をあげたいと思う
- ・色々な声を聴けて、勉強になりました。・良かったよ
- ・参加者がそれぞれの日常の生き方・考え方などを1人1人がお話しして、それについて、参加者が意見を述べることもいいのではないかと思います。
- ・一人一人からのメッセージが聞きたいと思いました。
- ・自分の常々おもっていた疑問を話し共有できた事で、結論は出なかったが考えを深められた。
- ・いろいろな人生と、その社会的な歴史背景を考えさせられるWSだったと思います。
- ・一人一人の心の内が可視化さ



れ展示されたカードが圧巻だった
 ・自分の問題を顕在化する事、
 考える事をする機会を与えてもら
 えました。ありがとうございます。
 ・学習会のためのカードなど資料
 やボードゲームやトイレットペー
 パー等の準備が、理解の助けに
 になりました。フラワーデモは初め
 て知りました有難うございます。

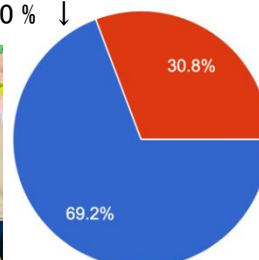


学習会参加15名

アンケート結果

ワークショップに満足 70% やや満足 30% その他 0% ↓

学習会の内容について
13件の回答



今後、交流ネットの活動で取
 り上げて欲しいテーマなど。
 ・このワークショップのつづきが見たい

・女性が女性の「から」を破る力
 「自主、自立、自律」が必要ですが、
 どうしたら良いか、考えられる
 テーマ。

・LGBTQ+アライについて。

・自分の悩み事相談会等もよい
 のではないでしょうか。

・1人の女性を中心にしてその人
 生から見えるものに触れてみた
 い、そんなテーマはどうですか。

・同じ内容でいい。

・男性も、もっと混じっての参加
 形式とかどうでしょうか？

・男女共同参画のために女性
 は、どうすべきかなど努力を重ね
 ているが男性はどうなっている？

ウィルあいち交流ネット2025第1回学習会

Workshop

知ることから始める～一人ひとりのモヤモヤ感をはき出そう

日常生活で感じる「圧」や「これってハラスメント？」を色カードに書き
 物干しロープ(Clothesline)に展示する参加型アートを交流ネット2025では
 企画しました。幼い頃からの経験を振り返って、書き始めてみましょう。
 そして、社会構造から生じる心のモヤモヤを挙げて気持ち共有する。
 そこから対話が始まる……さあ、心の洗濯してみませんか！

(開場 9:15)

日時：2025.6.29(日) 9:30～11:20

会場：北生涯学習センター第1集会室(地下鉄黒川駅4番出口)

〒462-0841名古屋市北区黒川本通2-16-3 (P15台有り)

<https://facebook.com/koryunet1030>

《#OurClothesline》説明：1978 モニカ・メイヤー1954年メキシコシティ
 生まれ。メキシコフェミニストアートのパイオニア的存在。ジェンダー間
 の不均衡を可視化する作品は圧巻。モニカの作品にインスパイアされて。

参加費無料



定員 30名(申込順)

申し込みURL & アクセスMAP

主催：ウィルあいち交流ネット

問合せ：net.koryu@gmail.com 080-7613-3708(杉山)

共催：(公財)あいち男女共同参画財団

報告：ファシリテーター杉山 碧(Lapin' 23)

私にできることは？

編集委員 金森 淑英(ベリーズ 18)

4月から家族の都合で横浜市に住むことになりました。愛知を離れた編集委員として何ができるのだろう…模索しています。まずは、ほかの地域での実践例、できるだけ多くの人に知ってもらい、参画してもらう仕組みの発掘、抱えている問題の解決の糸口、社会に求められていることなど思いつくことをまとめてお知らせできたらと思っています。初めての試みですので試行錯誤の連続だと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



神奈川県には『男女共同参画センター』が3つあります。どのセンターも女性の起業を後押しする講座(PCの技術やSNSの活用など)と女性が体や心を整える講座、相談業務などがメインです。その中で1つ注目している講座があります。U30 限定なので参加はできないのですが、『ジェンダー平等ヨコハマゼミ』というものです。

時間をかけて学び、話し合っジェンダーに関する政策に対する自分たちの考えや、これはどうですか？という政策を行政に伝えることを最終目的とするセミナーです。どんなものが出てくるのかとても楽しみ！です。

これって、もしかして、自分の市町でも私たちが中心になってやれるかな・・・

~~~~~

## 編集委員

編集委員 杉本 浩子(Amelie'10)



2025年度交流ネット通信の編集員として引き続き参加致します。令和7年7月の参議院選挙で今までにない動きがありました。その一つと言える「参政党」の躍進をみて感じました。やっと国民が選挙権を我が事として考え始めていると。

参政党の戦略はこうです。①共感：価値観を自分事化する。②参加：当事者になる。③シェアする：ファンが語る存在になる。

この考えが正しいかどうかは別として、複数の新しい党が立ち上がり、女性候補者のポスターが増え、街頭演説にも物おじせずに行い、当選した女性議員数は過去最高となりました。今、多くの男性政治家に言いたい「クオータ制以外の方法もあったじゃない」と。徐々にですが、新しい時代の政治が動いているのを感じて、更にこの風を大きくしていくために何が必要かと、皆と学べる場ができれば嬉しいと思っています。

### 交流、交流！



2001年春、熱心に交流ネットを作ろうと説かれた財団スタッフ、よく分からないままに肯いて、初めてのパネルディスカッション、多くの参加者、懇親会！通信に書いた原稿、映画祭とその前夜祭の楽しさ、東京までお願いに行った赤松良子さんはじめ著名なセミナー講師は、湯浅誠さん、天野恵子さん、林文子さん・・・忘れられない講演。交流ネットで関わった人々との今も残る絆！その絆を頼りに、通信で書き言葉の交流をしています。

責任者 森田 登喜子(ウィル2000)

## 皆さん、有吉佐和子さんをご存じですか？

編集委員 山田 和枝(Step07)

かく言う私も彼女の膨大な著書の中でごくごく一般的に広く知られた本しか手にしたことはありません。

「華岡青洲の妻」、「恍惚の人」など女性の生き方に深いまなざしを持って現した著者ですが、もう一つ黒人問題をテーマにした「非色」は今も印象深く残っており、有吉さんのテーマの幅の広さを感じています。



そんな中、テレビで「100分で名著－有吉佐和子」を見ました。

テレビで放映されたこともあり、地域の女性グループに話題を提供したところ、様々なご意見を通して私の気づきが足りない分が多々あることを知りました。

そこで交流ネットも一人の著者を中心にして女性問題を語るのもよいかと思いました。むしろなぜもっと早く有吉さんの存在に気が付かなかったのかと自分の無知を恥じる思いです。

私自身女性問題についてたとえ山の裾野の一員とはいえ、視野の狭さを知らされた出来事でした。

またまた編集委員などというお役目をいただき、どこまで間に合うのかはなはだ疑問ですが、どうか今年もよろしくお願い申し上げます。



## 私はどこから発信するのか

編集委員 間瀬 結子(Reiwa'19)

本通信の、当初の下書きを「女性のみならず、さまざまなマイノリティの人たちが安んじて」と書き進めてきたところで、「女性のみならず、いまの社会における人たちが安んじて」と直し、しばし考えこんでしまいました。もちろん私も、現在抑圧されている人びと全てにとって、自分らしく生きられる社会が一刻も早く到来することを強く強く願っています。でも、「女性のみならず、さまざまなマイノリティ」と主語を大きくしたことに、何かしらかの通りの良さを仮託してしまったことは否めません。



2025年5月27日豊明市議会における  
セクシュアルハラスメント問題に対し、実  
態調査と公開の申し入れを行いました。

「今まで間違えたんですよ、男女共同参画とか」(\*). いいえ。直面しているのは、ジェンダー間格差をなくすことによってしか進まない問題ばかりです。政治しかり、経済しかり、環境しかり、安全しかり、地域しかり、家庭しかり、少子化しかりです。先輩がたや皆さんが並々ならぬ努力で築いてきた男女共同参画の土台は崩れません。世界を見据えながら、自分のいる場所から女性の権利を求めていると思います。

\*2025年7月3日 参政党神谷宗幣代表の  
参院選街頭演説より

# ☆夏の雲が大好き☆家族は何より大切

鈴木 清美(みつ 2020)

私には、9歳年上の夫と3人の子ども(男24歳・男22歳・女15歳)がいます。私の夢は、『素敵な旦那様と幸せな家庭を作る』という夢でした。小学校の時のアルバムにも、そお～書かれていました。それが叶っているか？と言うと…。叶っていると思います。(^^\*)

私は、子ども達と関わる仕事をしています。学童保育(放課後児童クラブ)で、毎週月曜日～金曜日まで下校後～午後7時。毎週土曜日と小学校の長期休業日(夏休み・冬休み・春休み)、学校の代休日、県民の日については午前7時30分～午後7時。共働き世帯が大半で、就労などの理由で児童をお預りしています。多い日だと100人超えの子どもたちが来所します。夏休みは、お弁当を持参して開所前から車内で待っている方もいます。早朝より子どもたちがやってきて、お迎えは午後5時以降が大半です。カレンダー通りなので、お盆休みはありません。仕事とは別に住んでいる町で、私は、地域の事、乳幼児～高齢者に関わっていて、多くのボランティアをしています。そんなこんなで、仕事と多くの会に参加し、毎日、忙しくしている私です。おいしいものを食べている時とても幸せ☆夏の雲が大好き☆家族は何より大切です。(^^)/



## ♪あいち国際女性映画祭 2025♪

9月11日、女性監督の映画、女性をテーマにした映画全42作品上映の国際映画祭がウィルあいち等で始まります。監督、俳優がゲストのトーク・イベントもあります。



交流ネットでは、観た映画の感想会を予定しています。映画もおしゃべりも楽しみです♪

森田 登喜子

## 【ウィルあいち交流ネット】

公益財団法人あいち男女共同参画財団が開催した各種セミナーを修了した受講生たちは、修了後も活動を継続するため、自主的にグループを立ち上げました。

2000年(平成12年)には、18のグループが情報交換や活動の連携を図ることを目的として、ウィルあいちを拠点に「ウィルあいち交流ネット」を結成。以来、2025年(令和7年)現在もウィルあいちを拠点に活動を続けています。県下に広がるメンバー間の情報共有と交流を絶やすことなく、ネットワーク活動を継続・発展させ、男女共同参画社会の実現をめざしています。

2025年度会長 箕浦 真智子

ウィルあいち交流ネットは、2001年ウィルあいちセミナー等の修了生の自主活動グループが結成

メンズリブ名古屋/ '女性学'98の会/ グループ・キーツ/ ウィル 2000/  
I.W.L/ ウィル Do 2002/ サーティネット'05/ ベリーズ 18/ Step07/ Fem.'09/  
Amelie'10/ ひかるよ'15/ そだね! 2017/ Hey Say Final/ Reiwa'19/  
みつ 2020/ リモート 2021/ Womans Cup'22/ Lapin'23/ ME24/ (加入順)

2025年8月発行

編集発行:ウィルあいち交流ネット 協力:公益財団法人 あいち男女共同参画財団